



京丹後に棲む
絶滅危惧種のハヤブサ

ハヤブサ

ニュース

No. 91

2023. 12. 14日

発行 米軍Xバンド レーダー基地反対・京都連絡会

連絡先 〒602-8347 京都市上京区四番町121-5 大湾 宗則

電話&FAX 075-467-4437

郵便振込座 00950-9-303127 名義 京都連絡会

日米合同軍事演習反対 米軍Xバンドレーダー基地の 強化を許さない 池田たかね

さる11月10日から20日にかけて全国の自衛隊基地・米軍基地などで「自衛隊統合演習」が行われた。自衛隊三軍3万800人に加えて、米軍1万200人が参加した実質的な日米合同軍事演習であり、民間の空港・港湾施設や公道を使用した演習も実施されている。

この全国的な軍事演習の一環として、京丹後・宇川でも11月10日と11日に、福知山の陸上自衛隊第三師団第七普通科連隊と京丹後に駐留する米陸軍第14ミサイル防衛中隊による「基地警護訓練」が実施された。ドローン対処訓練、第一線救護訓練、CBRN対処訓練などがその内容だ。

「第一線救護」とは、戦場において医師がいない状況下で負傷した兵士に対してなされる救命処置のことで、CBRNは「化学・生物・放射性物質・核」の英語の頭文字をとったものである。ドローン対処を含めて、基地が攻撃され、戦闘が生じることを想定した物々しい訓練だ。

宇川での日米両軍による「基地警備訓練」は、米軍Xバンドレーダー基地と航空自衛隊経ヶ岬分屯基地に所属する自衛隊員・米軍による数十人の小規模なものとして始まったが、2017年以降は福知山の陸上自衛隊が参加するようになり、その規模は200人前後へと拡大し、訓練内容も強化されてきた。昨年2022年の訓練は日米統合演習「キーン・ソード23」の一環として実施され、米本土からの米軍部隊を含めて約265人が参加した。永井友昭さんの「チャレンジダイアリー」によれば、今年の訓練の際も撤収時の11月11日夕方には数百メートルの車列ができていたとのことで、その規模の大きさが伺われる。

こうした軍事訓練は、防衛省の説明とは異なっており、宇川の米軍基地・自衛隊基地が報復・攻撃

の対象になることを示すものだ。それはこれらのレーダー基地が戦争体制の一部であり、その最先端に位置するからだ。戦争が起こったときレーダーが真っ先に攻撃の対象となることはイラク戦争やロシアのウクライナ侵攻でも示されている。しかし、米軍・防衛省はそうした事実を覆い隠し、米軍と自衛隊による軍事訓練を繰り返しながら、人々を基地の存在に慣れさせようとしている。しかし、そもそも基地がなければこのような物々しい訓練も必要ない。

戦争体制づくりが進むなかで、宇川の米軍Xバンドレーダー基地も様々な強化されている。

この12月にも開始されるとされている日米韓の三国によるレーダー情報の即時共有の開始は、この基地の機能をいっそう強化するものになる。さらに、地域住民と反基地運動への監視と抑圧を狙う土地利用規制法の下での基地周辺の「特別注視区域」への指定が待ち構えている。

米軍Xバンドレーダーの本格運用の開始からこの12月で丸9年になる。そのかんに2015年の安倍政権による戦争法の制定や昨年末の岸田政権の安保戦略3文書の閣議決定を通して、日米安保の強化、日本の戦争体制づくりはますます加速し、そのなかで京丹後・宇川は自衛隊による集団的自衛権行使の最前線、レーダー基地としての先制攻撃につながる戦争準備の最前線のひとつとしての位置を鮮明にしている。

沖縄やアジアの人々と連帯し、岸田政権の戦争政策に抗して、反安保を掲げて米軍Xバンドレーダー基地の撤去に向けたたたかいを京都、京丹後において広げていこう。

京丹後現地訪問案内

1月22日(月)

午前8時30分

鴨川五条大橋西詰GS前集合

*参加を予定する方は事前連絡をお願いします。

(池田: 090-7108-5508)



「私語」の無い どっしりとした沖縄の闘いに 京都から連帯しよう！ 山口孝雄

昼過ぎに那覇空港に到着し、簡単に食事をすませ、そのまま奥武山公園へ向かう。予想通り暑い。沖縄の11月はまだまだ半袖で十分。本集会の始まる数十分前に到着した。会場に入ってくる人がいつまでも途切れないのを実感した。写真を撮るので会場を2周ぐらいたした。自分のTシャツに紙でアピールを書いて貼り付けたオジーや、車いすで介護の人と一緒に参加されていたオバーなど自発的に参加されている人が多いと思った。報道写真では最後の団結がんばろうの集合写真が多用されているが、舞台裏にも千人近いと思う人が多い。それと特筆すべきは、集会中の私語がほとんどなかったことだ。私は集会でICレコーダーで集会中の発言を録音したりする(備忘録として)。「本土」での屋外集会では、ICレコーダーを再生していると周囲の私語が多いのに閉口することがある。

この集会の狙いとして「若い人たちの参加」があったようだが、永遠の課題だ。前泊教授の基調報告で「まともな政治家を選ぼう」を結論に政治・軍隊・市民の関連を簡潔に具体例をあげて極めて分かりやすく話された。

ここ数年、自衛隊の南西諸島への配備は驚くほど急ピッチだ。これらの動きに対するたたかいを選挙で、大衆的な行動でさらに幅広く強力に進めなくてはならない。夕方からの全国交流集会がその一助になってもらえればと思う。

今回沖縄を訪れる機会とこの原稿を書く宿題を与えて頂いたことに感謝いたします。

今こそ「東シナ海」を平和の海に!

(文責：小林正明)

県民集会に参加しようと思ったとき、思い出したことがある。私の沖縄への関わりについてである。

93年頃に私の勤務地で、地域住民と共に差別に抗いながら反差別、反戦を闘う沖縄の彫刻家金城さんと市民の共同作業で作成した人権・福祉モニュメント「ふれあい像」のことである。あの時もなぜか目の前に沖縄があった。市内の共同作業場で、夜を徹して酒を酌み交わしながら「沖縄問題」を語り明かしたことを思い出す。

定年後に京丹後Xバンドリーダー基地反対現地抗議行動に誘われた時、躊躇なく参加することになるのも当然かなあ。なぜか、この闘いは、私にとって沖縄への連帯の闘いであると。当時の事を思い出す時、東南アジアの平和構築に向けて反共の砦である「東南アジア集団安全保障条約」を逆手にとって「東シナ海」を平和の海にするために中国も含めた共同開発がよいのではないかと、どっかの政党が呼び掛けていたように思う。以前はこのような主張は絵空事のように感じていた。

今の日本政府は「東シナ海利権」をわが物にすべく、台湾有事や中国・北朝鮮脅威を煽りつつ軍事力倍増で平和を守るという詭弁を弄している。「絵空事」であってもこのような提言が生きてくる世になったのかなあとの思いを抱いて帰路についた。



11.23 沖縄県民・平和 大集会に参加して (文責: 瀧川)



会場の奥武山公園には、続々と県民が押しかけ公園を埋め尽くしました。集会のチラシに「沖縄は人間の住む島です。島々にミサイルを持ち込み、戦争の準備をすることを断じて許しません。『沖縄戦の地獄を子孫に味あわせない』。沖縄が二度と戦争の被害者にも加害者にもならないように。」と書かれています。

来賓あいさつで玉城デニー知事は、「県民はこれからも絶対ひるむことなく行動し、平和のための声を上げ続けよう」と檄を飛ばし参加者全てに感謝と連帯を呼びかけた。

集会では、若い方々がスタッフとして活躍され、キッチンカーやスミィバイの取り組みなど今までにない企画には斬新なものを感じました。集会参加者には若者は少なく、高齢者が多く、戦中・戦後の体験から「二度と戦争をしてはならない」という意識が県民に根付いた力強さを感じました。「わたしたちは戦場に行きたくない、殺されたくない、殺したくない」と思っている多くの若者たちが結集して運動を担っていくことが課題だと思いました。

集会では、若い方々がスタッフとして活躍され、キッチンカーやスミィバイの取り組みなど今までにない企画には斬新なものを感じました。集会参加者には若者は少なく、高齢者が多く、戦中・戦後の体験から「二度と戦争をしてはならない」という意識が県民に根付いた力強さを感じました。「わたしたちは戦場に行きたくない、殺されたくない、殺したくない」と思っている多くの若者たちが結集して運動を担っていくことが課題だと思いました。

「争うよりも愛したい」のスローガンや、集会のエンディングにみんなで歌った「戦争を知らない子供たち」には違和感を覚えました。

世代からくる違和感ではなく、現状を切り開く闘いの方向性が見えないからです。

対話を拒否し、違法に責めてくる政府に信頼はもてない、愛するものを守るためには団結して争わざるを得ない、と私たちは考えています。

集会タイトルにある「全国連帯！沖縄から発信しよう！」は、京都をはじめ全国で連帯集会が開催され沖縄からの発信は届いたと思います。

11/29、米空軍の CV-22 オスプレイが墜落した。オスプレイ基地として建設が進む辺野古新基地は作らせない!を全国各地でもっと大きなものにしなければ・・・と思っています。

派遣カンパありがとうございました。

「街なかピラ」の報告と 今後のお知らせ (文責 白井)

2023年11月の報告

第163回 11月27日(月) JR二条駅周辺8人

この日の天候は「ピラまき日和」。近くのCO—OPも新装オープン。ピラの受け取りも良く元気が出た行動でした。駅西口では、「9条改憲NO！中京アクション」の女性たちの行動と、京都連絡会のピラまきとで相乗効果が生まれ、効果的な広場になりました。

<街の人の声>

- 「基地前の畑にも行ってる。仲間にも渡す」とピラを10枚程持ち帰って貰った(中塚さんの仲間・男)
- 「増野さんの仲間ですね？ご苦労さんです」(男)
- 「日本中に米軍基地があるのは知っていますが、京都にあるとは知りませんでした。軍事費よりも福祉に金を回してくれ！私も賛成、応援します」(男)
- 「ごくろうさん」「頑張ってる」「ありがとう」と言って受け取る人が多かった。



今後の予定です

第164回 12月15日(金) 百万遍 周辺

集合場所：「百万遍」交差点の北西

第165回 12月25日(月) 北野天満宮 周辺

集合場所：「北野天満宮」交差点の西南角

第166回 (2024) 1月26日(金) 大手筋

集合場所：京阪「伏見桃山」駅前

時間はいずれも11:00~12:00です。

無理のない体調でご参加ください。お待ちしております。

連絡先：090 - 5672 - 1597 (白井)

資料 「戦争の道を暴走する 政府止めるために団結する」 11.23県民平和大会宣言全文

政府はここ数年「中国脅威」を強調し、昨年2022年の暮れには「安保関連3文書」を閣議決定しました。その上で「台湾有事」「南西諸島有事に備えるため」として、最大の軍事強化を図ることを宣言しています。与那国、石垣、宮古の島々に限らず沖縄島や奄美、馬毛島に至るまで自衛隊基地が相次いで建設されミサイルや弾薬が持ち込まれています。さらに島々の空港、港湾をはじめとする公共インフラの軍事利用が謳われ、その上で空港滑走路の延長や港湾の拡張・新設のために予算化が図られています。また驚くことに、日本から直接中国本土を攻撃する長射程のミサイル開発に乗り出すことが明言され、米国から2000億円の巨費を投じて購入するトマホークミサイルの配備計画について1年前倒しで2025年から配備する動きになっていると報じられています。米軍の無人偵察機MQ9が自衛隊鹿屋基地から嘉手納基地に、地域住民の反対を押し切って配備されたように、また沖縄が配備先になることは必至です。

一方で自衛隊や米軍は、昨年2022年11月に実施された日米共同軍事演習・キーンソード23や今年10月に実施されたレゾリュート・ドラゴン23のように最大規模の軍事演習を相次いで強行し、そのたびに島々に大量の軍事兵器が持ち込まれるようになりました。自衛隊や米軍の車両が白昼市街地を走り回り制服姿の自衛隊が隊列をなして行軍するようになっており、戦前を彷彿させる光景が広がっています。かつてない軍事的緊張が島々を覆っています。

そのような情勢下で政府は、戦争の足音に恐怖する県民感情に配慮するどころか、辺野古新基地建設の代執行問題に見られるように「安保外交・基地問題」は「国の専権事項」と強硬姿勢を強めるばかりです。「台湾有事は南西諸島有事」、「台湾有事は日本の有事」と言い切った安倍政治を踏襲し「南西諸島」の島々の軍事基地強化に邁進しています。このままでは本当に戦争が起きかねません。何としても政府の暴走を止めなくてはなりません。沖縄戦の悲劇を繰り返さないためにも、私たちは今こそ、戦争をするな！無謀な戦争を繰り返すな！と腹の底からの声を上げようではありませんか。台湾問

題は中国の国内問題であり決して軍事介入して事の決着を図る問題ではありません。台湾問題に限らず諸外国との外交問題は、決して武力に訴えることなく、外交を柱に対話を通じた相互理解と相互尊重の立場で問題解決を図るほかはありません。そのことが先の戦争から学んだ教訓であるはずで、私たちは政府に対し、平和外交に撒し問題解決を図るべきであることを強く訴えます。

私たちは本日の平和大会で戦争に反対する県民意思、全国各地から参集した多くの市民の燃え立つ思いを発信しました。本日の集会は、今後さらに拡大していく県民大運動、全国運動の序章でありスタートラインに立ったばかりと言えます。戦争の道を暴走する政府の動きを止めるために、思想信条を越え老若男女が手を取り合って団結すること。次は5万10万人の単位で県民総決起の大集会を開催して政府にそして全国に県民の決意を伝え、全国と全世界と団結して戦争を止める、私たちはその決意を内外に発信します。以上、ここに宣言します。

2023年11月23日

全国連帯！沖縄から発催しよう！

11.23県民平和大会 参加者一同

お知らせ a 沖縄派遣 報告会

今回の 11.23 沖縄県民平和大会に「京都連絡会」から瀧川さん、小林さん、山口さんの三名、No Base から松本さん 1 名計 4 名が参加されました。

近々「報告会」を予定しています。決まり次第お知らせいたしますのでその節は楽しみにしてご参加ください。

お知らせ b 2024 年度 総会&旗開き

京都連絡会 総会 2月25日(日)13:00～ 無料

近畿連絡会 旗開き 2月25日(日)15:30～1,000.-

飲食有り

会場 京都府部落解放センター 4 階大ホール

お知らせ c 12 月 京都連絡会「例会」

12月例会 12月25日(月)18:30

ひとまち交流館・京都 第一会議室

一年を振り返って 池田たかねさんのお話

